

## 会 議 録

会議の名称	第18期第22回企画実行委員の会議		
事務局	公民館東分館		
開催日時	平成18年7月4日（火）午前10時～正午		
開催場所	公民館東分館集会室A・B		
出席者	【企画実行委員】 浅井 兼成      石戸 純一      猪俣満智子 川野眞由美      関戸 彩愛      村上 廣子 【職員】 長堀 雅春      小林 明夫      田村 隆夫		
傍聴の可否	○可      ・ 一部不可      ・ 不可		
傍聴者数	6人		
傍聴不可等の理由等			
会議次第	1 第28期第9回公民館運営審議会の報告（6月23日開催分） 2 主催事業の計画・報告について 3 第19回東センターまつりについて 4 第44回東京都公民館研究大会について 5 企画実行委員から 6 その他		
会議結果			
発言内容・ 発言者名 （主な発言 要旨等）	1 第28期第9回公民館運営審議会の報告（6月23日開催分） 〔長堀〕①第19期企画実行委員選出の結果と再募集について報告。東分館は応募者なし、本町分館は2人のみとなり、再募集する。他の3館は定員の6人が決定した。応募者減少となった結果について、企画実行委員制度の問題点や課題など意見交換された。「公運審としては大変衝撃的に受け止めたい」等。 ②第44回東京都公民館研究大会の進捗状況について報告。開催要項（案）が提案され、活発な意見交換を経て充実した内容になった。7月中に開催要項作成、9月配布の予定。 ③公共施設部屋予約システムの運用状況について報告。苦情等は激減し、順調に運用されている。 ④「市民がつくる自主講座」について提案。今年で4年目となる。最初は応募が多かったが、年々減っていき予算も縮小された。今年には多くの応募を期待し、広報に努める。 ⑤各館の企画実行委員の会議傍聴の報告。東分館については田頭委員より「活発な議論が展開されており感激」「企画実行委員のコー		

ナーが作られ壁新聞で企画実行委員制度の紹介など意欲的」「各館の企画実行委員同士で交流できるとよい」等と報告された。

⑥各館事業の計画・報告について。東分館からは「男女共同参画講座『いまを見つめる源氏物語』」の計画を提出。特に質疑なし。

⑦公民館の基本方針づくりについて。「公民館をみんなのものにするには」とのテーマで各自「案」を持ち寄ることになった。

〔関戸〕企画実行委員の応募者が少なかった原因の一つは、魅力がないこと、制度を知らないことではないか。

〔長堀〕職員側の反省として、もっと知らせる努力が足りなかった。

## 2 主催事業の計画・報告について

### ○ 高齢者学級「いきいきと仲間づくり」

〔田村〕事故報告（6/22）。社協バス使用の野外研修（6/8）では座席数の関係で人数制限をした為、希望者全員の要望に沿えず不満の声があった。電車使用の際は希望者全員参加の予定。前半の感想文を書いてもらう。班活動は講座の際はあまり機能せず、今後の課題。

〔関戸〕運営全般について参加者にとまどいがある。仲間づくりのためには参加者の意欲が大切。そういう気持ちを引き出す工夫を。

〔石戸〕時間通りの運営も大事だが、講師の投げかけを受講者に振り向けるなど臨機の対応も必要。野外研修では買い物も楽しみの一つであり時間があるのに省略したのはまずかった（6/8 青梅）。

### ○ 男女共同参画講座「家庭や地域の中のコミュニケーション」

〔長堀〕残り1回。約20人参加。ワークショップ形式で楽しみながら新しい発見も多い。大変意義ある内容で参加者の満足度は高い。

〔猪俣〕講師の進め方が素晴らしい。参加者が皆よく発言していて驚き。そういう場が求められていたことを実感。若い母親もよく参加している。

〔村上〕アサーティブという言葉も知らなかったが、やってみると面白い。コミュニケーションの仕方の勉強になった。

### ○ 成人大学「歴史との対話～『論語』からのメッセージ」

〔長堀〕別紙の通り報告。一つのテーマを継続して取り上げることは意義深い。企画面では多角的に課題を深める工夫も必要。

〔石戸〕小島先生のファンが集まってくる。毎年ほぼ同じ顔ぶれが多い。

〔浅井〕参加者の熱心さは素晴らしい。皆さんよく勉強している。

### ○ 成人学校「操体法～自分でつくる健康ライフ」

〔長堀〕別紙の通り報告。自主グループが誕生。短期の講座だったが出席率も高かった。実技中心で和やかな雰囲気だった。

〔浅井〕杖について来た人が帰りには杖なしで歩いて行った。その効果に驚

き。高齢者は誰でも健康志向を持っている。

〔村上〕参加者同士がスキンシップで楽しくできたのがよかった。

〔川野〕人数多くて大変だったが徐々に減ってきてやり易くなった。自主グループは意外に少ない参加だった。自分一人でもできるからか。

○ 子ども体験講座「手打ちうどんをつくろう」

〔小林〕7/23 実施で現在募集中。6/30 にリハーサルを実施。「ときめき科学実験」については別紙の通り。

○ その他

〔長堀〕男女共同参画講座「いまを見つめる源氏物語」、成人学校「男の料理」については別紙の通り企画中。

〔小林〕国際交流イベントについては、企画を進めていた話がダメになり、新たに企画を考慮中。成人学校でデジカメの講座を企画中。

### 3 第19回東センターまつりについて

〔長堀〕7/2 はイベントが盛りだくさんだったが参加者も多く、成功裏に無事終了した。更衣室やメイクアップ室の確保に課題を残した。模擬店が大好評だった。新町商店会の出店もまつりを盛り上げてくれた。

〔石戸〕2分割の試みは成功だったと思う。東中コーラスはなも初参加だったが多くの観客が来てよかった。

〔猪俣〕インドネシア舞踊は華やかだった。観客も満杯になるほど大盛況でよかった。どのイベントもたくさん観客が入ってよかった。

〔長堀〕邦楽発表会は長すぎる感も否めないが今後の課題としたい。各イベントの出演者が他のイベントの観客になるなど相互交流が見られたのは大変よかった。模擬店の事前予約制も成功だった。7/7 からの後半もよろしく願いいたします。

### 4 第44回東京都公民館研究大会について

〔長堀〕現在各課題別集会の企画が進行中。7 月中に開催要項作成、9 月には配布の予定。川野さんが第6 課題別、猪俣さんが第8 課題別に参加。

### 5 企画実行委員から

〔関戸〕今までを振り返ってひと言ずつお願いします。

〔猪俣〕企画実行委員になるまで公民館についての認識がなかった。企画実行委員のことも知らなかった。徐々に自覚が出てきた。去年のセンターまつり「企画実行委員のコーナー」で企画実行委員の制度や仕事を知らせる工夫をし、壁新聞をつくり、アンケートを置いて来館者に声をかける取り組みをした。自分も楽しみ、市民と公民館の橋渡し役としてやってきてよかったと思う。

〔石戸〕最初は何も分らなかったが、研修等に出て企画実行委員の存在と仕

	<p>事について分ってきた。委員同士の連携が支えになった。自分としても新しい活動をしながらか地域の役に立ち、やりがいがあった。皆さんの学びを企画することが自分の学びにつながり、自分が変わったことを実感。高齢者学級では逆に元気をもらった。我々が伝えることはあくまでも参考であり、次期の方々に新しい発展を考えてほしい。職員は事務的に進めることも大事だが、参加者が楽しめるようにその場その場の臨機対応も必要なことを理解してほしい。</p> <p>〔村上〕 高齢者学級は自分にとっても意義深かった。他の講座も自分の勉強になった。多くの人と知り合い、楽しみながら4年間やってきた。</p> <p>〔浅井〕 自分は地域の交流を大切にしてきた。今回のセンターまつりで商店会との連携が実現してよかった。今後も長く続けてほしい。</p> <p>〔川野〕 何もわからずやってきた。『月刊こうみんかん』の原稿を書いたのが印象的だった。各講座とも自分の勉強になった。浅井さんなどいろいろな企画を提案され、その意欲と引き出しの多さに感激した。</p> <p>〔関戸〕 4年間やってきたが、最初の2年間は何もわからなかった。途中で目覚めている意見を言ったが、公民館は市民がつくるものと実感できた。主催事業のつくられる過程など初めて知り、思ったようにできなかったことも多いが、有意義な経験だった。親の世代の方々といっしょにやってきて大変お世話になった。やりがいがあった。</p> <p>6 その他</p> <p>〔関戸〕 自分たちのときは引継ぎなどなかったが、職員とは別に市民の立場で伝えたいことがある。そういう場をつくってほしい。</p> <p>〔長堀〕 非公式になるが、そういう場を提供したい。</p> <p>〔関戸〕 9月の最初の企画実行委員の会議(9/5)のあと、昼食後に設定したい。新企画実行委員の方々に連絡をお願いします。</p>
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催通知（議題入り）</li> <li>○ 高齢者学級関係（実施済み、未実施分の項目、懸案事項等）</li> <li>○ 成人大学「歴史との対話～『論語』からのメッセージ」報告</li> <li>○ 成人学校「操体法～自分でつくる健康ライフ」報告</li> <li>○ 子ども体験教室「ときめき科学実験」実施要綱</li> <li>○ 男女共同参画講座「いまを見つめる源氏物語」実施要綱</li> <li>○ 成人学校「男子厨房に入るべし」実施要綱</li> <li>○ 企画実行委員から</li> </ul>
その他	